

令和7年10月26日執行
山口市長選挙

選挙公報

発行者
山口市選挙管理委員会

市民を大切に。地域を大切に。

新市誕生から20年。山口市のまちづくりは、合併モードから新たなまちづくりのモードに入ります。自然と歴史と人の調和を大切にして、市内21の地域、県都山口を、ずっと元気にしていく全力のまちづくり。

「新たなまちづくりへの挑戦」

01 都市全体の元気をあげる

市民一人ひとりと、地域、事業者の皆さんの活動量をもっと上げて、都市全体の活力や元気を高めます。

02 選ばれるまちへ

山口にきたい、住みたい、思ってもらえる「山口らしさ 全開」のまちに。都市の魅力をもっと引き出していきます。21の地域が響き合う、美しい地域連合都市山口をつくります。

03 まちをスマートに

重複する施設や複雑な仕組みを、市民や地域の皆さんと共に、もっと分かりやすく持続可能な仕組みをつくります。デジタルとグリーンで人が中心のやさしいまちをつくります。

04 元気な県都づくり

若者・子育て世代が活躍できる県都としての「広域県央中核都市づくり」と「個性と安心の21地域づくり」を進めます。安全安心、子育て・教育、強いコミュニティづくりに取組みます。

ずっと元気な県都山口。
安心。つながり。明るい未来。

【新たな取組(主なもの)】

- 小中学校のトイレ洋式化、体育館のエアコン整備。
- まちなかウォークパブルの推進を含めた中心市街地一帯の整備、パークロード周辺の公共施設の連携強化。
- 新山口駅周辺の市街地拡大・駐車場整備促進。
- 元気な農林水産業・地場産業づくり。農山村等の地域拠点の機能強化。地域交流センターでもっと元気に。
- 国道9号・2号整備促進。居住促進(南部10,000人PJ・県農業試験場跡地や県立大学南キャンパス跡地活用)。
- 観光コンベンションシティ山口のまちづくり。武道館の整備。プロスポーツを観る支える環境づくり。学都山口・地域連携強化。など
- 公共施設等の利活用・一体化。高齢者をはじめあらゆる市民が生き生き健康なまちづくり。女性活躍の環境づくり など



※1期目の主な実績 コロナ禍・物価高騰対策(約217億円の経済対策)、子育て・教育環境の充実(高校生までの医療費無償化、第2子以降の保育料無償化、小中学校トイレ洋式化など)、農林水産業の振興(小規模農家支援、スマート農業推進、道の駅強化、農山村の居住促進、農林水産部新設など)、防災・減災対策(関田川雨水ポンプ場整備、大型移動式排水ポンプ配備、河川浸透の加速化、河川治水課新設、新木庁舎整備など)、医療体制の充実(山口赤十字病院・済生会山口総合病院建設支援、徳地診療所設置など)、交流人口創出・シティセールス(ニューヨーク・タイムズ紙選出、「地球の歩き方 山口市」発刊など)、道路網の整備・要望活動(国道9号・国道2号の事業化推進など)、温暖化対策(脱炭素先行地域に選定、地域新電力会社設立など)、中小企業支援や企業誘致の推進(誘致等18件、雇用創出483人、商談可第三国地元完など)



無所属

伊藤かずき

二元的民主主義を生かし、 県都山口の飛躍的發展をめざす!!

学校給食を中学校まで無償化し、医療費を18歳まで無料にする。子どもの未来につなげます。

看護市立短期大学を設立し看護資格者を育成し、県内医療の充実を図る。外国人留学生は、看護師資格取得と共に、特定技能2級の資格者として迎え、共生社会の実現を計る。

衰退を止め、市政に活力を!!

活性化の個別政策

- 温暖明媚な地域風土を生かし、住みやすい秋穂地域を更に発展させます。
- 県都山口市の新玄関「小郡・阿知須地域」を商業文化の中核地として発展させます。
- 福祉政策の一環として、宮野温泉の浴槽拡充などにより憩いの場・交流の場を更に発展させます。
- 徳地森山・藤木地域の生活インフラ(道路整備)を加速させる。
- 高原性に恵まれた阿東・徳地地域に接する国道315号、県道11号、国道9号に沿って日本有数の果樹地帯を目指します。又、この施策を推進する人的資源育成のため空き校舎を有効利用した果樹研修所を徳地地域に造ります。
- 津和野一萩ー山口を一巡する観光地を充実させる為、長門峡、願成就温泉に加え、更に奈良時代から1200年、栄枯盛衰を重ねた蔵目喜銅山跡地を散策コースとして充実させ、又、坑道や風穴などを観光資源に育成します。
- 県都の顔、山口駅前を再開発し、山口市を活性化させます。
- 市民税を減税します。

晩学の徒 佐々木信夫(ささきただお)プロフィール

経歴

- 昭和13年 山口市宮野に生まれる
- 昭和25年3月 三谷小学校卒業
- 昭和28年3月 山口県阿武郡地福村立地福中学校卒業
- 山口県立山口高等学校、福岡県立小倉高等学校を経て島根県立津和野高等学校卒業(在学中生徒会長)
- 昭和34年3月 立正大学 経済学部経済学科卒業(36歳)
- 昭和50年3月 駒澤大学 大学院法学研究科修士課程修了(38歳)
- 昭和52年3月 千葉商科大学 大学院商学研究科修士課程修了(42歳)
- 昭和56年3月 早稲田大学 大学院法学研究科博士課程単位取得(46歳)

主な政治歴

- ①平成4年～令和7年、山口県に於いて国政選挙に8回立候補
- ②山口市長選挙、萩市長選挙、阿武町長選挙に立候補
- ③自由連合(元)山口県代表、元税理士

現職 次世代のための 自由福祉党代表
社会福祉法人 出雲王朝理事長、減税日本(代表河村たかし)党員



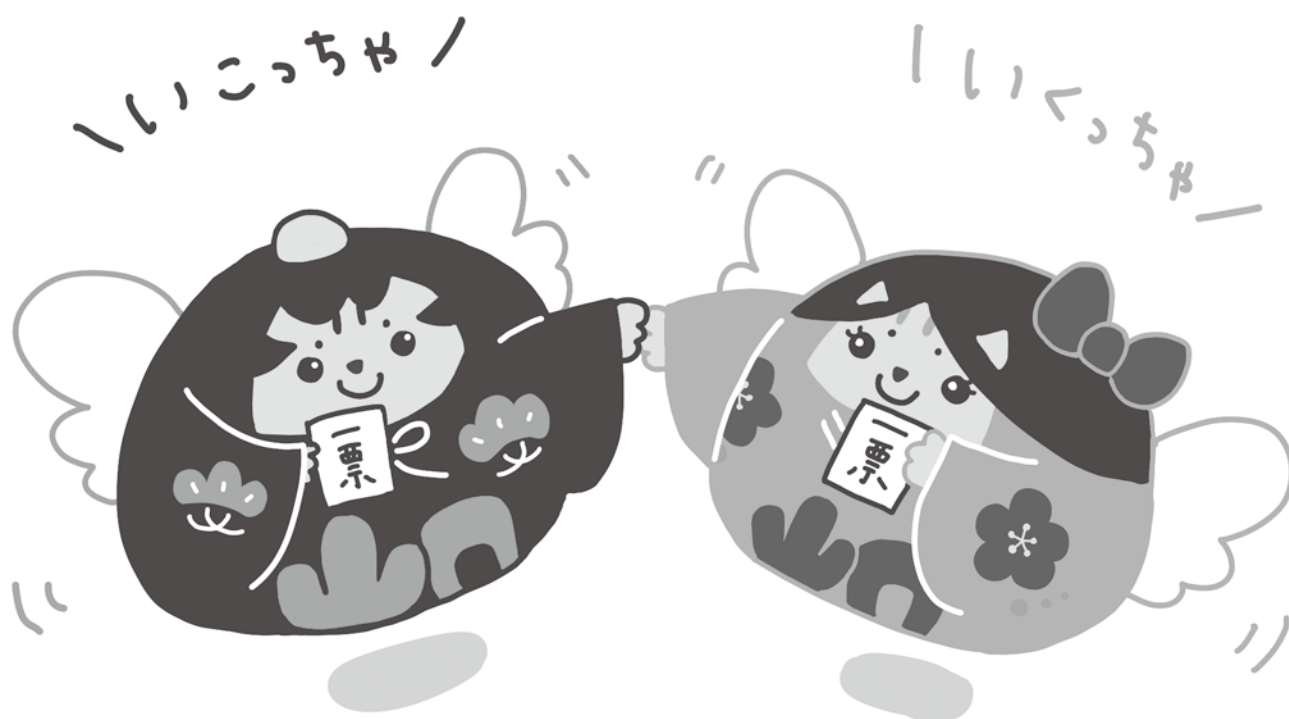
無所属

ささきただお

10月26日(日) 山口市長選挙

投票時間：午前7時～午後8時

※大富公民館・一貫野集会所・東鯖公民館・長浜公会堂・徳地地域 及び阿東地域の全投票所については午前7時～午後7時まで



聞いて 見て 考えて
みんなが選ぶ 明るいみらい

※令和6年度明るい選挙啓発作品(山口県選挙管理委員会委員長賞 標語部門)